

アルコール・薬物・ギャンブル等の3つの依存症に対する総合支援のための対策を実施

3依存症共通の対策

アルコール依存症対策
薬物依存症対策
ギャンブル等依存症対策

- 依存症相談拠点設置(こころの健康センター)
- 依存症相談員の配置
- 依存症相談員による相談
- 依存症専門相談(専門医による相談)
- 依存症支援者育成研修事業
- 普及啓発・情報提供事業(市民向け講演会等)
- 依存症者家族支援事業
- 各区保健福祉センターにおける相談・支援

- 治療拠点及び専門医療機関の選定
 - 【治療拠点機関】大阪精神医療センター(3依存)
 - 【専門医療機関】大阪精神医療センター(3依存)・藤井クリニック(3依存)
小谷クリニック(アルコール)・悲田院クリニック(アルコール)・にじクリニック(アルコール・ギャンブル等)

各依存症個別の対策

アルコール依存症対策

- 酒害教室
- 警察・医療機関との連携

薬物依存症対策

- 乱用防止の普及啓発

ギャンブル等依存症対策

- 当事者支援プログラム事業

ゲーム依存症対策

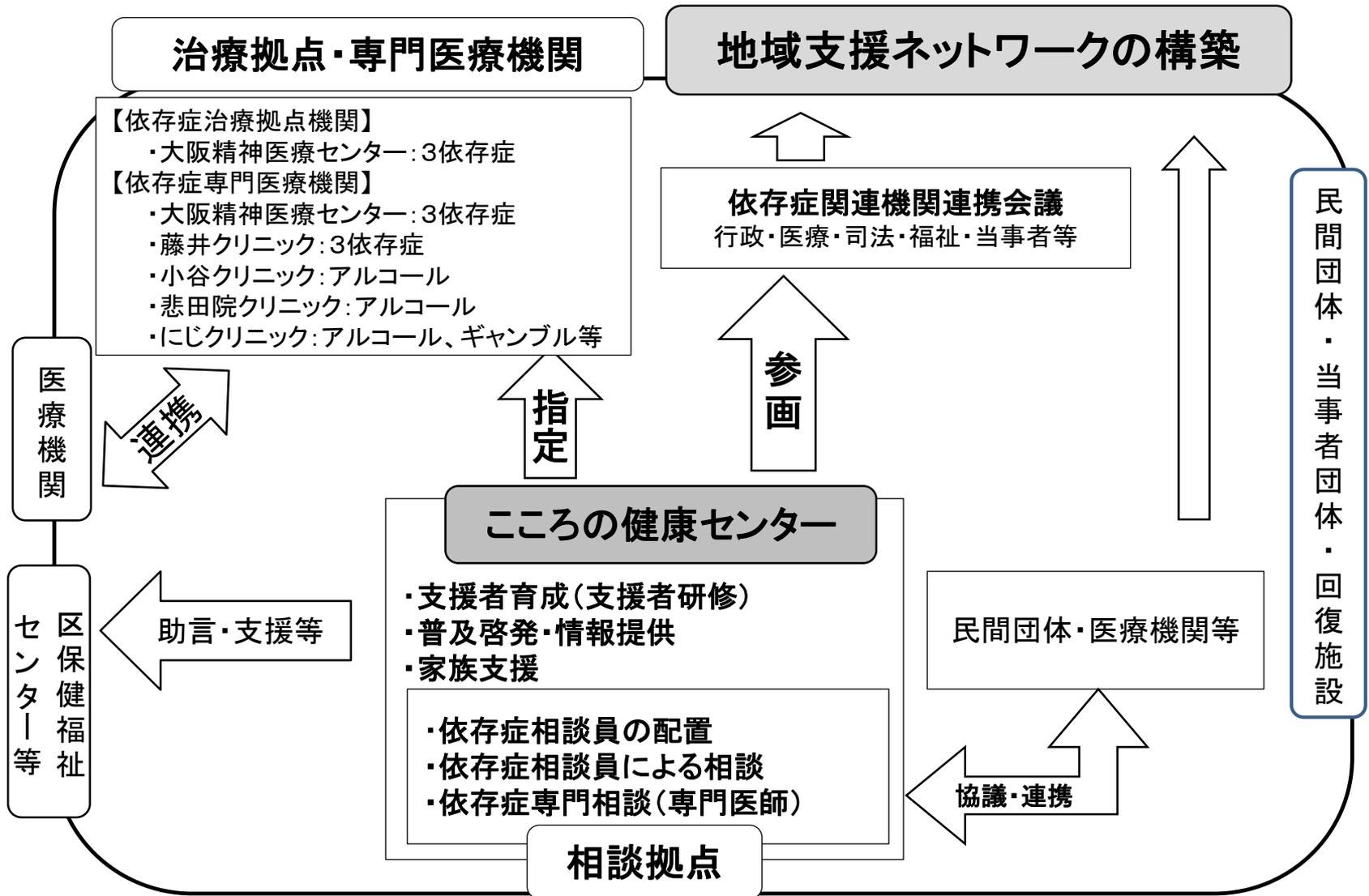
- 支援者の育成

大阪府・堺市との共同事業

アルコール依存症対策
薬物依存症対策
ギャンブル等依存症対策

- 行政機関支援者向け研修事業
- 医療機関職員専門研修事業
- 依存症関連機関連携会議
- ギャンブル等依存症啓発事業
- 依存症相談対応力強化事業(土日電話相談)

大阪市の依存症対策について



依存症対策支援事業の取組実績

○本市単独事業

(1) 依存症相談員による相談業務

依存症相談員を配置し、開庁時間中に相談に応じている。

	アルコール	薬物	ギャンブル	その他	計
平成30年度	222	223	184	52	681
令和元年度	341	340	297	134	1,112
令和2年度	376	264	229	137	1,006

(2) 依存症専門相談

専門の医師による相談（予約制）を実施。

		アルコール			薬物			ギャンブル		
		男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
平成30年度	実	26	4	30	18	8	26	27	4	31
	延	26	4	30	19	11	30	27	4	31
令和元年度	実	35	2	37	15	10	25	39	3	42
	延	35	2	37	19	13	32	41	3	44
令和2年度	実	18	4	22	7	5	12	14	2	16
	延	18	4	22	10	5	15	16	2	18

(3) 依存症支援者育成研修事業

アルコール関連問題に係る支援者育成事業（「飲酒と健康を考える会」）

医療機関・地域包括支援センター・訪問看護ステーション・断酒会・AA・アルコール関連作業所等でアルコール関連問題にかかると支援者を対象に研修を実施。

	実施回数	参加者数
平成30年度	4	142
令和元年度	4	116
令和2年度	4	92

(4) 普及啓発・情報提供事業

ア) 市民向け啓発講演会

市民を対象に依存症に関する知識の普及を目的にアルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に関する講座を実施。

	アルコール		薬物		ギャンブル	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
平成 30 年度	2	134	2	73	2	132
令和元年度	2	111	2	112	2	100
令和 2 年度	2	70	2	46	2	26

イ) 啓発用パンフレット作成

- ・アルコール・薬物・ギャンブル等の依存症に関する普及啓発のため、パンフレットを作成し、各区保健福祉センター、地域関係機関、医療機関等へ配布。
- ・「アルコールの問題でお困りの方へ」「薬物の問題で困りの方へ」「ギャンブル等の問題でお困りの方へ」を各 3,000 部作成。

ウ) ギャンブル等依存症問題啓発週間（5月14日～20日）における取組み

①街頭キャンペーン（大阪府・堺市と共同実施）

相談窓口を記載した啓発物品（ポケットティッシュ）を配布

実施日：5月14日

実施場所：JR京橋駅北口周辺、JR天王寺駅周辺、JR大阪駅周辺、
南海中百舌鳥駅周辺

②民間事業者への啓発物品の配架（大阪府、堺市と共同実施）

相談窓口を記載した啓発物品（ポケットティッシュ）を配架

配架場所

- ・大阪府遊技業協同組合加盟のパチンコ・パチスロ店
- ・ブッキースタジアム岸和田（岸和田競輪場）、ボートレース住之江、ウインズ難波、ウインズ道頓堀、ウインズ梅田、DASH心斎橋、サテライト大阪、ボートピア梅田、ボートレースチケットショップりんくう

③パネル展示

大阪市こころの健康センターにおいて、啓発資料のパネルを展示

④Osaka Metro 主要駅（21 駅）でのチラシ配架

大阪市依存症相談の窓口を掲載したチラシを配架

※令和 2 年度は、大阪府、堺市と共同で街頭キャンペーンや民間事業者への啓発物品の配架を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため中止。

エ) アルコール関連問題啓発週間（11月10日～16日）における取組み

大阪市こころの健康センターにおいて、啓発資料のパネル展示及び相談窓口を掲載したチラシの配架をおこなった。また大阪市ホームページ上で啓発資料を掲載した。

(5) 依存症者家族支援事業

依存症に悩む人たちを支える家族のための教室を実施。

	アルコール		薬物		ギャンブル	
	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数	実施回数	参加者数
平成 30 年度	3	55	3	23	3	41
令和元年度	3	49	3	18	2 (※)	19
令和 2 年度	2 (※)	29	3	11	5 (※)	23

※新型コロナウイルス感染症拡大防止のためそれぞれ 1 回開催中止

(6) 当事者支援専門プログラム事業

令和 2 年度より、本人を対象にギャンブル等にたよらない生活を取り戻すことを目指し、1クール 6 回のプログラムを実施。

ワークブックを用いて、自身のギャンブル等の問題の整理、疾病の理解、ギャンブル等の再開防止に向けた具体的対処と今後の備え等を学ぶ内容。

	参加者数
令和 2 年度	5

○大阪府・堺市との共同事業

(1) 医療機関職員専門研修事業

依存症専門医療機関の選定条件の一つである「依存症治療指導者養成研修」として医療機関職員を対象に研修を実施。

	実施回数	参加者数
平成 30 年度	2	134
令和元年度	3	188
令和 2 年度	3	166

(2) 依存症相談対応力強化事業（土日電話相談「おおさか依存症土日ホットライン」）

平成 30 年 6 月から、土日の昼間の時間帯（13:00～17:00）における電話相談を開始。

（委託事業）

	相談件数
平成 30 年度	177
令和元年度	291
令和 2 年度	161